

# 県障みやぎ

第112号

発行所

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会  
発行人/森 正義  
宮城県仙台市宮城野区幸町四丁目6-2  
TEL/291-1522  
ホームページアドレス  
<http://www.shinsho-miyagi.or.jp/>  
印刷所/第二啓生園



## 東日本大震災から10年

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会  
会長 森 正義

令和2年は、年の始めと終わりが、これほどまでに違った1年はなかったと思います。わたしたちの日常生活も社会生活も、何もかもが、以前とは違う状況になりました。

令和3年が始まりましたが、この1年は、感染症が収束し、諸活動が動き出すことを願っております。しかし、あらゆることが、従前にとらわれないかたちになることが予想されます。

コロナ禍のなかで、当法人が経営する施設や事業、指定管理施設や委託事業・補助事業は大打撃を受けませんでした。勿論、行事の中止や休止、人数制限や自粛など、影響が皆無ではありませんでした。また、昨年4月から、肢体不自由児協会事業を引き受けておりますので、この事業については、詳しくご報告もないまま、11か月が過ぎようとしております。

市町村協会においても、行事や活動が大きな影響を被っております。諸計画が実行できない状況です。しかし、そのような中でも、規模を縮小しながら、研修会やスポーツ行事を開催した協会もありました。

ここで、今年の主なトピックを記したいと思います。

今年の最大のリスクが、コロナ問題長期化と想定していましたら、ある調査機関は、米国の分断と米中の緊張関係と分析しました。

身近なことでは、3月に、東日本大震災から10年を迎えます。課題を整理し、懸念や要望を関係者に伝えていきます。自然災害の脅威に晒されてきましたが、今回は体験したことのないパンデミック（感染症の世界的大流行）です。世界同時発生的に、人々の価値観を一変させました。

自然災害は惨禍の状況から復興に向かいますが、感染症は徐々に惨禍の状況になるかも知れない怖さがあります。

4月には、県の差別解消条例が施行予定です。手話言語条例も同様です。差別解消への啓発と手話の言語性と母語性の理解が進んでいくことでしょう。

6月には、全国組織の日身連も当法人も、役員改選と評議員改選があります。役員は2年ごとに、評議員は4年ごとに改選されます。

夏には国連の障害者権利条約の日本審査が予定されています。総括所見が出されると、日本の障害福祉施策への反映が期待されます。東京オリパラは不安材料があり、見通せません。

10月には、2年連続して中止となった全国障害者スポーツ大会（三重県）が予定されています。スポーツは社会参加の重要な要素なので、工夫を凝らした大会運営に期待しています。

12月は障害者週間に向けた書道・写真コンテストも行われます。文化芸術分野でも、活躍していただきたいと思います。

このほか、当法人の施設や事業が、年間行事計画をつくります。随時、案内が送付されますので、ご参加いただければと思います。





# 新事業 肢体不自由児協会事業スタート

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会  
副会長 末田 耕司(事業担当)

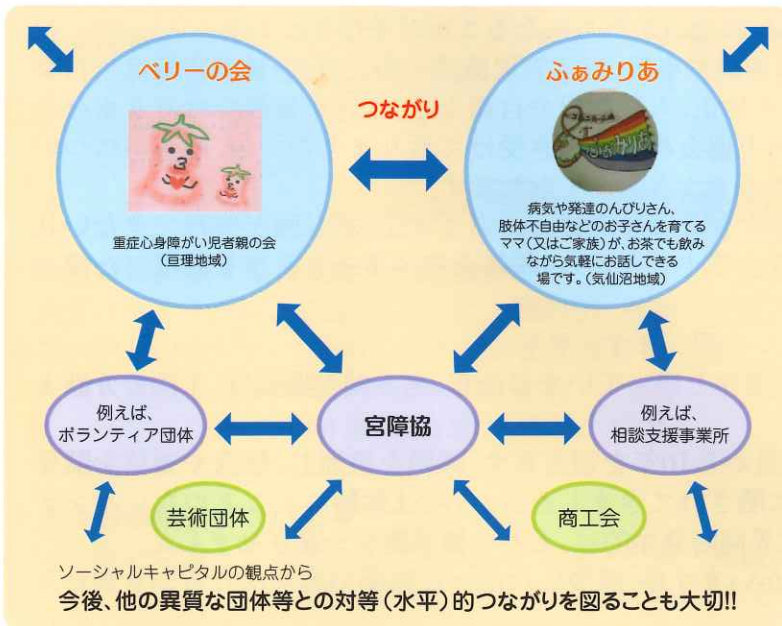
令和2年4月に、宮城県肢体不自由児協会の考えに賛同し、その事業を引き継ぎ当福祉協会内に肢体不自由児協会事業を立ち上げました。

ソーシャルキャピタルへの視座を持って障がい児親の会等セルフヘルプ・グループ支援システム推進事業をはじめ、‘きぼっこキャンプ(肢体不自由児と障がいのない子どものキャンプ)’の開催を目指して活動しています。

「どこの家庭でも、どこの社会でも、どこの国でも、子どもは、明日への明るい希望であり、人類進歩の可能性をその中に持っている若芽であります。この若芽がゆがめられないで、心身ともにすくすく育てゆくようにすることが、われわれ大人の務めであり、社会的にも大きな事業であると思われま

※ソーシャルキャピタルとは

個人の物事をうまく行う能力をヒューマンキャピタルといいます。ソーシャルキャピタルとは人のつながりが生み出す力(資本)と捉えます。



夏のきぼっこキャンプ  
黒川郡大和町升沢森の学び舎



ヤッター!  
テント完成!!

## 現在取り組んでいる事業の源泉

- 昭和31年 ポリオ患者支援から脳性まひ児者・家族の支援
- 昭和32年 第5回「手足の不自由な子どもを育てる運動」開始
- 昭和40年 ボランティア(ヘルパー)育成関連事業開始
- 昭和42年 宮城県重症心身障害児者家庭奉仕員事業受託～平成25年度まで
- 昭和47年 手足の不自由な子どもと障がいのない子どものキャンプ開始
- 昭和48年 電動タイプライター操作講習会等コミュニケーション支援関連事業開始
- 昭和56年 キャップハンディ活動開始、福祉教育・人権教育開始
- 昭和62年 「障がいがある子どもに愛の手を」普及運動開始
- 平成9年 障がい児親の会等セルフヘルプグループ支援システム推進関連事業開始
- 平成25年 被災地域支援(亘理・山元圏域)開始



## 2019年度地域公益事業 事業報告

宮城県の障害者差別解消の条例制定に関して、4月に開催した市町村協会会議（旧 市町村身体障害者福祉協会会長並びに事務担当者会議）で情報提供しました。

市町村協会では、令和元年5月に大郷町身体障害者福祉協会が解散しました。会員の減少と高齢化により事業運営が厳しく、事業を継続していくことが困難な市町村協会が年々増加しています。

11月開催の今年度第2回の市町村協会会議では、「組織強化の取り組みについて」をテーマに、角田市・利府町・登米市の活動内容を紹介し、組織のあり方や新しい事業展開に向けた意見交換の場の充実に努めました。

日本身体障害者福祉大会が秋田県で開催され、ブロック構成団体として協力支援しました。これにより、従来の宮城県障がい者福祉大会は休止としましたが、会員交流の場を確保するため、新たな企画として10月に「市町村協会対抗 卓球バレー交流大会」を開催しました。

「一般財団法人 宮城県肢体不自由児協会」事業の一部を引き継ぎ、来年度から「肢体不自由児協会事業」として開始することとなりました。法人設立60周年を機に、障がい種別の枠組みを超え、「障がい児」から「高齢障がい者」まで守備範囲を拡げた事業を展開していきます。

### 1. 市町村協会地域活動促進事業

#### (1) 「市町村協会会議」の開催

第1回 平成31年4月26日 県障害者福祉センター  
参加者28市町村協会51名

##### ①情報提供

「障害のある人もない人も共生する社会づくり条例（仮称）」について

##### ②意見交換

テーマ 「各市町村協会の活動の紹介」  
「近隣市町村協会との連携共同について」

第2回 令和元年11月1日 県障害者福祉センター  
参加者22市町村協会37名

##### ①2019年度協会会長表彰について

##### ②報告事項（台風19号による会員の安否および被害状況について）他

##### ③意見交換

テーマ「組織強化の取り組みについて」

活動内容の紹介	角田市身体障害者福祉協会	齋藤武司	会長
	利府町身体障がい者福祉協会	板橋健夫	会長
	登米市身体障害者福祉協会	但野了	会長

#### (2) 「市町村協会女性部会」の活動支援

「女性部会長会議」の開催

令和元年5月27日 県障害者福祉センター

参加者3市町村協会6名

##### ①各部会の活動報告と計画 ②研修会について

##### ③これからの女性部会活動について（個人会員の加入と会費額について）他

#### (3) 「女性会員研修会」の開催

令和元年10月6日～7日 鳴子温泉 ホテル亀屋

参加者4市町村協会29名

##### ①県の共生条例及び手話言語条例の制定について ②体験談など自由発表

#### (4) 「第1回市町村協会対抗 卓球バレー交流大会」の開催

令和元年10月25日 県障害者総合体育センター

優勝：気仙沼Aチーム 準優勝：山元町チーム 3位：気仙沼Bチーム

### 2. 福祉運動推進事業

#### (1) 「日本身体障害者団体連合会」関係

##### ①「第64回日本身体障害者福祉大会 あきた大会」参加

令和元年5月22日～23日 秋田市

##### ②「東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議」出席

令和元年6月20日～21日 山形市

##### ③理事会・評議員会・日身連の財政の安定化に対する検討委員会出席

#### (2) 「第65回宮城県社会福祉大会」 ※台風第19号の影響により中止

### 3. 啓発・広報事業

#### (1) 広報紙「県障みやぎ」第110号・第111号を発行しました。

#### (2) 各市町村協会、関係福祉団体の諸行事に積極的に参加しました。

## 4. 地域公益事業決算報告

(地域公益事業拠点区分 資金収支計算書)

## 地域公益事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	その他の事業収入	780,000	673,000	107,000
		協会公益事業収入	780,000	673,000	107,000
		市町村協会会費収入	780,000	673,000	107,000
		受取利息配当金収入	1,000	5	995
		その他の収入	700,000	688,764	11,236
		雑収入	700,000	688,764	11,236
	事業活動収入計(1)		1,481,000	1,361,769	119,231
	支出	事業費支出	1,880,000	1,739,576	140,424
		広報啓発事業支出	300,000	242,000	58,000
		地域活動促進事業費支出	170,000	110,082	59,918
地域活動促進事業費支出		170,000	107,002	62,998	
内部地域活動促進事業費支出			3,080	△ 3,080	
福祉運動費支出		480,000	459,212	20,788	
福祉運動費支出		480,000	441,392	38,608	
内部福祉運動費支出			17,820	△ 17,820	
指導費支出		410,000	408,282	1,718	
負担金支出	520,000	520,000	0		
事業活動支出計(2)		1,880,000	1,739,576	140,424	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 399,000	△ 377,807	△ 21,193	
予備費支出(10)		50,000	—	50,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 449,000	△ 377,807	△ 71,193	
前期末支払資金残高(12)		923,741	923,741	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		474,741	545,934	△ 71,193	

※本紙では会員対象の「地域公益事業」の決算報告のみを掲載しています。法人全体の業務・財務情報は、法人HPをご確認ください。

## 令和2年度地域公益事業 事業計画

## ◎運営の基本方針

宮城県の「障害のある人もない人も共生する社会づくり条例(仮称)」の制定に向けて、検討会等の発言の場には引き続き積極的に参画するよう各位に働きかけ、「安心安全な環境づくり」「共に支え合う地域社会」の実現を目指します。

各市町村協会においては、会員の高齢化や減少によるさまざまな課題を抱えており、組織のあり方や事業展開に向けた意見交換の場の充実に努めていきます。

従来の宮城県障がい者福祉大会は運営方法や内容を再検討し、会員交流の場として新たな企画を実施いたします。

また、昨今の大規模な自然災害への備えの重要性については、会員をはじめ関係各位に強く訴えていきます。

## ◎重点事項

- ・安心安全な環境づくり、共に支え合う地域社会の実現に向けて取り組みます。
- ・市町村協会の現状に応じた事業の在り方、相互協力について検討します。
- ・新しい情報の速やかな発信に努めます。
- ・関係福祉団体との連携と協力体制の強化に努めます。

基本方針と重点事項に基づき、各事業や会議、大会等を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず中止または規模を縮小しての開催となりました。

そのような状況の中で、新たな取り組みとしまして、「市町村協会女性部会」では、会員間の情報交換と新規会員の勧誘を目的として、会報紙「べに花」を発行しました。



# 受賞おめでとうございます

## 日身連会長表彰 塩釜市 菊地 進様



第65回日本身体障害者福祉大会（ひろしま大会）は、令和2年6月3日～4日の2日間の日程で、広島市のリーガロイヤルホテル広島と広島県立総合体育館において開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

『日身連会長表彰』は全国で52名の方の受賞が決定しており、宮城県では塩釜市障がい者福祉協会会長の菊地進様が受賞しました。

大会式典における表彰は叶いませんでしたが、表彰状と記念品（手作りのコサージュ）を令和2年6月23日に開催された塩釜市障がい者福祉協会役員会の席上で森正義会長から伝達しています。

## 令和2年度 宮城県障がい者福祉協会会長表彰

第66回宮城県社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染予防のため規模を縮小して、令和2年11月5日に仙台サンプラザホテルで開催されました。

代表して、「身体障がい者福祉事業奉仕者」の本多秀次様と「更生援護功労者」の江口定夫様に  
ご出席いただき、表彰状と記念品を贈呈しました。

### 《表彰状》

【身体障がい者福祉事業奉仕者】 1名

本多秀次様（塩釜市）

【更生援護功労者】 9名

江口定夫様（多賀城市）

富田マスミ様（栗原市）

大場辰男様（登米市）

阿部悦子様（登米市）

伊藤保彦様（登米市）

佐藤実様（登米市）

布澤純様（登米市）

早坂忠雄様（加美町）

伊藤貴陸様（加美町）

【自立更生者】 2名

渡邊勝栄様（富谷市）

若生利治様（富谷市）

### 《感謝状》

【更生援護協力者】 1名

山崎きみ子様（大崎市）





### 令和2年度ボッチャ競技講習会

令和2年9月17日、宮城県障害者総合体育センターを会場に標記講習会を開催し、15名にご参加いただきました。講習会では競技規則や用具の説明を受けた後、参加者全員で協力し合いながら規定のコート作りを行いました。最後は2コートに分かれ試合を行い、細かなルールなどは実践の中で指導員に質問をし、理解を深めることができました。

ボッチャは障がいの有無に関わらず、誰でも楽しめるスポーツです。

また、次年度の全国障害者スポーツ大会より、重度の身体障害者を対象とした正式競技として実施されることが決定しております。

指導員の派遣や競技用具の貸出も行っておりますので、当協会へお問い合わせください。



### 第8回宮城県障がい者パークゴルフ交流大会

令和2年10月16日に、SATO開発おおひら万葉パークゴルフ場を会場に開催されました。

天候にも恵まれ、県内各地より41名のご参加をいただきました。

開会式では、地元大衡村より萩原達雄村長にご臨席を賜り、始球式も行っていたいただき、盛会に開会いたしました。ホールインワンの続出や、成績上位者の白熱した戦いなどが見受けられました。

穏やかな秋空の下、ソーシャルディスタンスを保ちながら和気あいあいとプレーすることができました。参加者の皆様、本当にありがとうございました。

次回も多くの方のご参加をお待ちしております。

#### 【男性の部】

優勝 齋藤 實 様 (加美町)

#### 【女性の部】

優勝 大戸 栄子 様 (加美町)

#### 【ホールインワン賞】

佐藤 直人 様 (気仙沼市)、佐々木幸輝 様 (加美町)

武田 弘道 様 (大崎市)、嶋田 和子 様 (美里町)



大衡村  
萩原達雄 村長



【男性の部】優勝  
齋藤 實 様 (加美町)



【女性の部】優勝  
大戸 栄子 様 (加美町)





### 令和2年度宮城県障がい者スポーツ交流大会・記録会

今年度の全国障害者スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催が見送られ、昨年度に引き続き2大会連続の中止となりました。当協会では代替事業として、スポーツを通じた自立と社会参加の可能性を高めるとともに、パラスポーツ競技の競技力向上を図ることを目的とし、水泳・サウンドテーブルテニス（STT）・陸上・卓球の4種目で標記大会を開催しました。日程については下記のとおりです。

各種大会等が中止となり、日頃の成果を発揮する場が少ない中で、延べ50名にご参加いただき、スポーツを通じた交流の機会を提供することができました。規模を縮小し、検温とチェックシートで体調確認を行うなど感染症対策を講じながら無事に開催することができ、ご協力いただきました関係団体の皆様に感謝申し上げます。



**【水泳】** 令和2年11月15日  
幸町ウエルフェア温水プール（仙台市）



**【陸上】** 令和2年12月5日  
キューアンドエースタジアムみやぎ（利府町）



**【STT】** 令和2年11月29日  
石巻市総合体育館（石巻市）



**【卓球】** 令和2年12月13日  
宮城県障害者総合体育センター（仙台市）

### 第35回「障害者による書道・写真全国コンテスト」宮城県大会

障害者の文化・芸術活動の促進と、障害者週間における啓発活動の一環として標記大会は開催され、今年は133点の作品が集まりました。（書道部門111点、写真部門22点）

宮城県大会優秀作品12点を全国コンテストに出品いたしました。

また、下記日程で応募作品展を開催し、多くの方の目にふれる機会となりました。

多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

#### 書道部門



**【金賞】** 「和顔」

佐々木 一重様（大崎市）



**【殿堂入り】** 「厭」

青山良子様（塩釜市）

#### 写真部門



**【金賞】** 「綺麗、美しいボールペン」

菅原帆乃香様（気仙沼市）

※全国コンテストで3回以上入賞された方は審査対象外のため、殿堂入りとなります。

#### 応募作品展

- 大崎市民ギャラリー 緒絶の館：令和2年11月12日（木）～11月17日（火）
- 宮城県庁：令和2年11月30日（月）～12月4日（金）



## 令和3年度事業のお知らせ

### 市町村協会会議

令和3年9月中旬

### 第27回宮城県障がい者ボウリング大会

令和3年6月19日(土) タイトーステーションボウルグループ(仙台市太白区)

### 第9回宮城県障がい者パークゴルフ交流大会

令和3年10月初旬 SATO開発おおひら万葉パークゴルフ場(大衡村)

### 第36回「障害者による書道・写真全国コンテスト」宮城県大会

募集期間 令和3年6月中旬 募集要項発送予定

展示期間 大崎市民ギャラリー緒絶の館 令和3年11月中旬

宮城県庁 令和3年12月3日(金)～12月9日(木)

### 第67回宮城県社会福祉大会

令和3年11月11日(木) 仙台サンプラザホール

### 市町村協会対抗卓球バレー交流大会

令和3年11月中旬 宮城県障害者総合体育センター

\*開催時点での新型コロナウイルス感染症の影響が不明なため、開催予定としておりますが、今後の動向によっては延期または中止とさせていただきます。

## ジパング倶楽部特別会員のご案内

### \*新型コロナウイルスに関するお知らせ\*

新型コロナウイルスの影響により、期限内に更新の手続きができなかった場合は、法人本部事務局までお申し出ください。期限を超えても更新として手続きいたします。

- 加入資格 身体障害者手帳をお持ちで  
男性満60歳、女性満55歳以上の方
- 年会費 1,400円

### \*きっぷの割引について\*

- (1) 割引対象となるきっぷ：JR線を「片道・往復・連続」で201km以上ご利用される場合、特急券・グリーン券・指定券などが割引されます。(新幹線「のぞみ」「みずほ」など一部割引とならないきっぷがあります)
- (2) 割引の内容：3割引(ただし新規会員(期限切れ会員含む)は初回3回まで2割引となります)
- (3) 割引とならない期間：4月27日～5月6日、8月10日～8月19日、12月28日～1月6日の全ての期間
- (4) 介護者の割引：第1種身体障害者の方で、介助者が同行される場合は、介助者も同様の割引となります。

### \*お申込みにあたっての注意点\*

- (1) お申込みをいただいてから、お手元にジパング手帳が届くまで約3～4週間程度かかります。ご旅行の際は余裕をもってお申込みください。
- (2) 会員誌などの特典サービスはありません。
- (3) 1年ごとの更新のお知らせ等は差し上げていませんので、手帳の使用期限には十分ご注意ください。

詳細については法人本部事務局までお問い合わせください。

宮城県障がい者福祉協会ホームページにも詳しく掲載しております。